

Jacob Artved & David Wong

[Profile]

ジェイコブ・アルトベッド Jacob Artved : guitar



1998年、デンマークのコペンハーゲンで生まれ育つ。
両親がミュージシャンという環境で育ち、幼い頃より楽器にふれ演奏していた。
15歳の時にデンマーク王立音楽アカデミーに史上最年少で入学する。
18歳の時に学業を中断して伝統的な本場のジャズを学ぶ為にニューヨークに移り住む。
ニューヨークではジャムセッションやクラブでの演奏などでニューヨーク・ジャズシーンのビッグネーム達と共演するようになり、ヨーロッパとアメリカの両方で演奏活動を行う。
過去5年間ニューヨークで過ごした後、恒久的にニューヨークに移動する事を決める。
また、彼はデンマークで自身のリーダー作をリリースし、その才能と音楽シーンへの貢献に対して「ベント・ジェディグ賞」「エリック・モセホルム賞」「Rødovre 音楽賞」「ヴィルヘルム・ハンセン財団名誉賞」等の賞を受賞する。
彼のデビューアルバム「Wax Up!」(2017)は、デンマーク音楽賞の「年間最優秀新人賞」および「最優秀レコード賞」にノミネートされる。

彼は、コペンハーゲンのジャズギタリストの大先輩であるダグ・レイニーやジェイコブ・フィッシャーの足跡をたどりながら、60年代のクラシックジャズと2020年代のモダンジャズの橋渡しに成功しています。
ジェイコブ・アルヴェッドは、デンマークのジャズ界で輝くスターです。

デヴィッド・ウォン David Wong : bass



ニューヨーク市に生まれ育つ。
ラガーディア高校の Music and Art and the Performing Arts でチューバ奏者の Bob Stewart の指導を受け音楽への情熱を育み、高校卒業後、ジュリアード音楽院に進む。
ジュリアード音楽院では、ニューヨーク・フィルハーモニックのオリン・オブライエンやロン・カーター、ベン・ウルフ、ジョン・クレイトンに師事する。
在学中 2003 年から 2004 年にかけては「エリック・リード・トリオ」の一員として、スイス、スコットランド、ハリウッド・ボウル（ロサンゼルス）、アルゴンキン・ホテル（ニューヨーク市）で演奏し、リンカーン・センターやその他多くの会場に出演している。
2004 年にジュリアード音楽院クラシック音楽家を卒業する。
ジャズ界の伝説的人物であるジミー・ヒースとアルバート・「Tootie」・ヒース率いるヒース・ブラザーズ・カルテットのベーシスト、そしてハンク・ジョーンズの「グレート・ジャズ・トリオ」の最後のベーシストでもあり、ピアノマスターの最後の録音にフィーチャーされている。
現在は、ロイ・ヘインズの「ファウンテン・オブ・ユース」バンド、「チャールズ・マクファーソン・クインテット」、「ヴァンガード・ジャズ・オーケストラ」、セシル・マクロリン・サルバントの「オグレス・アンサンブル」のメンバーです。

また、彼は、クラーク・テリー、イリノイ・ジャケ、ウィントン・マルサリス、クリスチャン・マクブライド、ウォルター・ブランディング、マーカス・プリントアップ、リロイ・ジェンキンス、デヴィッド・ヘイゼルティン、ジム・ロトンディ、カーラ・クック、ポーラ・ウェスト、マーク・グールド（メトロポリタン・オペラ）ベニー・グリーン、ダン・ニマー、ジェフ・パットン、ビル・チャーラップ、テルル・スタッフォード、アーロン・ディール、ヘレン・サングと演奏している。彼はサイドマンとしても 80 以上のレコーディングに出演しており、最近では「ベスト ニュー アーティスト」サマラ・ジョイとのレコーディングでグラミー賞を受賞しています。